

CAPDバッグフリー交換セット

再使用禁止

【警告】

- 各接続部を汚染させないこと。[腹膜炎を発症する可能性がある。]

【禁忌・禁止】

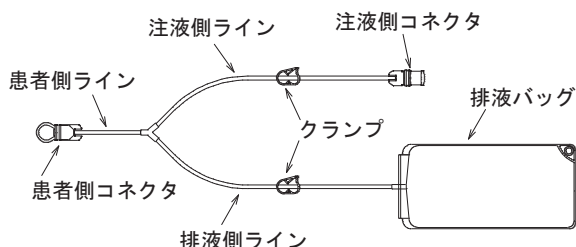
- 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

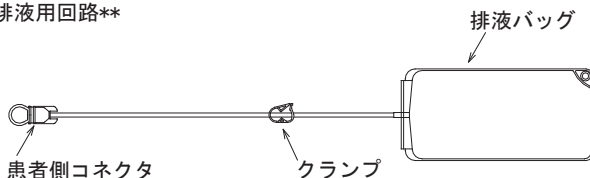
本品は患者側ライン、排液側ライン及び必要に応じて注液側ラインからなる。*

<構成(代表例)>

○注液・排液用回路**



○排液用回路**



- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- ・上記構成と当該製品の構成が異なる場合がある。

*【使用目的、効能又は効果】

連続携帯式腹膜透析(CAPD)を行う際に、腹膜透析液を腹腔内へ注液するために、また、腹腔内から排液するために用いて、交換後に患者の腹膜透析液の空容器の携行を不要にする。また、連続携帯式腹膜透析(CAPD)を行う際に、腹腔内の洗浄を目的として、生理食塩液を腹腔内へ注液し、腹腔内から排液するために用いる。*

*【品目仕様等】

最大耐圧：39.2kPa (0.4kgf/cm²)*

**【操作方法又は使用方法等】

1. 腹膜透析を行う場合**

○注液・排液用回路を使用する場合**

- (1)手を洗い、マスクを着用します。
- (2)本品を包装から取り出し、注液側ラインおよび排液側ラインのクランプを閉じます。

- (3)注液側コネクタのカバーを外し、腹膜透析液入りの容器に接続します。
- (4)患者側コネクタのカバーを外し、腹部の接続チューブに接続します。
- (5)注液側ライン及び排液側ラインのクランプを開いて、少量の腹膜透析液を排液バッグに流し、回路をプライミングします。*
- (6)プライミング後に、注液側ラインのクランプのみを再び閉じます。*
- (7)腹部の接続チューブのクランプを開き、腹腔内に貯留された腹膜透析液を排液バッグへ排液します。排液終了後に、腹部の接続チューブのクランプ及び排液側ラインのクランプを閉じます。*
- (8)注液側ラインのクランプと腹部の接続チューブのクランプを開き、腹膜透析液を腹腔内へ注液します。注液終了後に、腹部の接続チューブのクランプと注液側ラインのクランプを閉じます。*
- (9)患者側コネクタと腹部の接続チューブを取り外し、接続チューブに保護キャップを装着します。*

○排液用回路を使用する場合**

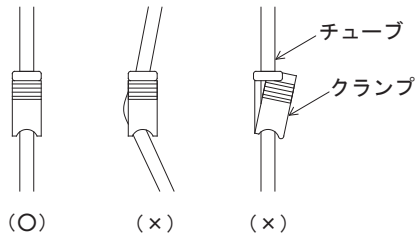
- (1)手を洗い、マスクを着用します。**
 - (2)本品を包装から取り出し、回路の全てのクランプを閉じます。**
 - (3)患者側コネクタのカバーを外し、腹部の接続チューブに接続します。**
 - (4)本品のクランプ及び腹部の接続チューブのクランプを開き、腹腔内に貯留された腹膜透析液を排液バッグへ排液します。排液終了後に、腹部の接続チューブのクランプ及び本品のクランプを閉じます。**
 - (5)患者側コネクタと腹部の接続チューブを切り離し、接続チューブに保護キャップを装着します。**
2. 生理食塩液を用いて腹腔内洗浄を行う場合**
腹膜透析液の代わりに、生理食塩液を使用して、本品を操作します。**

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意**

- 本品は熟練した医師の指導の下で使用すること。*
- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。*
- 必ず手洗い及びマスクを着用し、清潔な環境下で汚染に注意して本品を使用すること。
- 包装を開封したらすぐに使用すること。
- 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- 接続チューブとの接続は、指定以外の操作及び方法で行わないこと。
- 使用中は本品の接続部の緩み及び薬液漏れ等について定期的に確認すること。**
- 鉗子等でチューブをクランプする場合、チューブを傷つけないように注意すること。[チューブの破損、液漏れが生じる可能性がある。]
- コネクタをアルコール等の有機溶剤で拭かないこと。[コネクタにひび割れが生じる可能性がある。]
- コネクタにひび割れが確認された場合は、ただちに新しい製品と交換すること。
- キャップを外した状態では患者側コネクタを上に向けないこと。[落下菌が侵入し、腹膜炎を発症する可能性がある。]**

- 患者側コネクタの内側や、注液側コネクタの先端を指などで触れないこと。接続部を不潔にした場合は、直ちに本品を交換すること。
[腹膜炎を発症する可能性がある。]**
- クランプを閉じる際は、下図の（○）のように閉じること。[チューブが閉塞されない可能性がある。]**



- 鉗子等の使用中や、鋭利なもの等によりチューブ又はバッグを傷つけないよう注意すること。[液漏れ、エア混入が生じ、腹膜炎を発症する可能性がある。]**

2. その他の注意

- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証（当社データ）により設定]

*【包装】

10セット／箱、30セット／箱、48セット／箱*

(箱の入数表示を参照)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806